

AJ

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine
MAY. 2022 100YEN
vol.
319



[巻頭グラビア]

NATURE IN THE GLASS

グラミーの楽園

ADA EVENT REPORT

すみだ水族館「呼吸でめぐる、水族館」

DOOA STYLE #18

「小さな器で水生苔を」

ADA PLANTS GALLERY #09

「アフリカン・オテリア」

30th企画 プロダクト進化論 #01【新連載】

「パレングラス」

システムでタノシム #01【新連載】

LOVE ADA GOODS #01【新連載】

ネイチャーコラム 第18回

「巻き巻きマイマイ」



[グラミーの楽園]

この水景は主役のパール・グラミーから構想を膨らませ、その習性を考えた構図組みと水草の選択をした。生息地の様子をイメージしつつ、パール・グラミーが安心して成長・繁殖できるような環境を表現した水景である。

©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日	2022年1月14日(ADA)
制作	内田成(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W150×D60×H60(cm)
照明	ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルターES-2400(バイオリオL)
換水	1週間に1度 1/3
底材	トロピカルリバーサンド、アクアソイル-アマゾニア Ver.2、パワーサンド、アドバンスL、バクター100、クリアスバー、トルマリンBC

C O ₂	パレングラス・ビートル50φ、CO ₂ ビートルカウンターで1秒に5滴(タワー使用)
A I R	リリバパイプP-6Lによるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	ニュートラルK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
水質	水温25°C pH:6.8 TH:50mg/L

水草	BIOハイグロフイラ・ピンナティフィダ アヌビアス・ナナ ブリクサ・ショートリーフ ボルビティス・ヒュディロッティ フィランサス・フルイタンス タイガーロータス・レッド ニムファsp. イキトス オレンジ・ミリオフィラム クリプトコリネ・バランサエ	Hygrophila pinnatifida Anubias barteri var. nana Blyxa novoguineensis Bolbitis heudeletii Phyllanthus fluitans Nymphaea lotus Nymphaea sp. Iquitos Myriophyllum sp. Cryptocoryne crispatula var. balansae
魚種	パール・グラミー	クリナム・アクアチカ・ナロー バリスネリア・スピラリス モスバッゲ ウィローモス パール・グラミー

Crinum calamistratum
Vallisneria spiralis
Taxiphyllum barbieri
Trichopodus leerii
Hypessobrycon phryrrhotus
Alestropetruis smykalai
Megalophodus megalopterus
Crossocheilus oblongus
Otocinclus sp.
Caridina multidentata



今回主役としたバール・グラミーの美しいフォルムや、繁殖のために泡巣をつくる習性に改めて興味を持ち、グラミーが生活しやすい環境を水槽の中にどのように再現していくかをテーマに制作した。そのように考えながら組んだ構成により、流れが緩やかで留まるようにした場所は魚の休憩場所や隠れ家となり、泡巣をつくるための浮遊水草の溜まり場となった。浮遊水草や浮葉を出す水草などの水面を覆う植物があることで安心感を得られたためか、索敵行動のようなものではなく、グラミー本来のゆったりとした落ち着きのある様子が見られた。

©AQUA DESIGN AMANO

水草や熱帯植物を通じて感じる自然の呼吸

昨年12月9日から今年の2月28日までの期間、東京・すみだ水族館でいきものたちの“呼吸”に着目した体験イベント「呼吸でめぐる、水族館」が開催されました。すみだ水族館の自然水景エリアで、水草の光合成によってつくり出される酸素の気泡から着想を得たもので、いきものたちのさまざまな呼吸に着目した水槽展示やワークショップが行われました。ここでは、ネイチャーアクアリウムやバルダリウムの特別展示、ミニバルダリウム・ワークショップなど、ADAが協力したいくつかの関連企画について紹介します。



イベント告知ポスター



ADA EVENT REPORT

すみだ水族館「—いきものの呼吸を見て、感じて、大きく息を吸い込む— 呼吸でめぐる、水族館」

写真・文／編集部



「自然から学ぶ」というネイチャーアクアリウムのコンセプトをはじめ、水草の光合成や、目に見えない微生物たちの働き、ろ過システムによる水の循環についてADAの水景クリエイターが水槽を周りながら解説させていただきました。

自然水景の
リラックス空間で
ヨガの体験イベント



ADA EVENT REPORT ミニパルダリウム・ワークショップ



ADAスタッフが
楽しみ方や
ノウハウをレクチャー

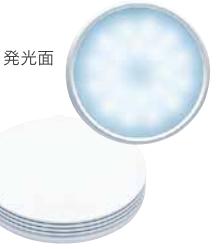
「呼吸でめぐる、水族館」の開催期間中、毎週土曜日に「ガラスポット SHIZUKU」および「ガラスポット MARU」を用いたミニパルダリウム制作のワークショップが開かれました。ADAの生体製品「BIO みづくさの森」や「シャングルプランツ」の着生ラン、「佗び草マット」などを参加者が自由に選び、思い思いのミニパルダリウムを制作。流木や石の組み合わせを考えながら構図をつくり、レイアウトツールを使用して植栽を進めていました。

インストラクターとなったADAスタッフからは植栽のポイントや具体的な管理方法についての説明があり、参加者の方々はそれぞれ楽しみながらオリジナルのミニパルダリウムを仕上げていました。こうしたミニパルダリウムの良いところは、アクアリウムと違ってその場でつくったものが手軽に持ち帰れるところであり、身近なインドアグリーンとして今後もますます人気が高まってきそうな兆しを感じました。

ガラスポット SHIZUKUで楽しむ ミニパルダリウム

LED照明器具「マグネットライトG」と組み合わせることで、場所を選ばずに植物が健康に育ちミニパルダリウムを楽しむことができます。関連グッズも充実しておりますので、組み合わせ方だいで、楽しみ方はさらに広がります。

マグネットライトG
植物の緑を鮮やかに見せる高亮度白色LED(グリーン球)を20灯搭載した10Wの小型LED照明器です。光量は6段階調整可能で、メモリー機能によりタイマー管理にも対応。USB電源アダプターUSB Type (5V2A)が別途必要。



ガラスポット SHIZUKU
専用のフタと側面に空いた穴により適度な湿度が保たれ、湿潤な環境を好む植物を育成することができます。フタには微細な穴加工が施されており、滴り落ちるしづくがリラックス効果を与えます。



[植物]
BIOみづくさの森：
・スタウロギネ・レベンス
・アスピアス・ナナ ブチ
・ニューラージ・パールグラス
・クリスマスモス
シャングルプランツ：
・ディ内马・ボリブルボン

[素材]
・シャングルソイル
・シャングルベース
・着生ラン付きホーンウッドSS



**シャングルソイル
シャングルベース**
底層部の通気性を維持するためシャングルベースを敷き、その上から植物の生長に有効な土壤微生物や無煙炭を配合したシャングルソイルを敷きます。



佗び草ミスト

日々の管理に水分供給と栄養素の供給ができる佗び草ミストの噴霧がおすすめです。葉色をよくするとともに害虫の忌避効果が期待できます。

ミニパルダリウムのつくり方
HOW TO "DOOA" SET UP
動画公開中! →



IAPLC2022応募ガイド

水草水槽をキレイに撮るためにのテクニック

4月1日より、IAPLC2022の応募受付がスタートしました。写真によるコンテストのため、写真は適正露出で撮って応募することが大切です。そこで今回は、ビギナーの方でもキレイな水景写真を撮ることができるテクニックをご紹介します。



STEP1. 前日の準備

Check List

□ 01 水槽壁面の汚れを取り除く

水槽内に付着した藻類は景観を損ねます。プロレーザーなどきれいにしましょう。



□ 02 化粧砂をならす

化粧砂を敷く場合、前面をキレイにならすことが水景をランクアップさせるコツです。



□ 03 換水をする

換水直後は気泡がガラス面に付着しやすいので、必ず撮影前日までに終わらせましょう。

□ 04 クリアウォーターを添加する

同製品は水中の濁りを凝集する効果があるため、水の透明度をアップさせます。

STEP2. 当日の準備

Check List

□ 01 水草がベストな状態で撮影

水草を生き生きとした状態で撮影するために、点灯後3時間以上経つから撮影しましょう。



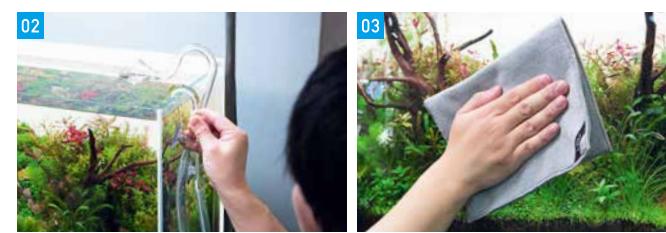
□ 02 器具を外す

汚泥が水中に流出するとせっかくの水景が台無しです。ろ過装置の取り扱いには注意しましょう。



□ 03 ガラス面を拭き上げる

付着した水垢は目に付きます。ふき取りには吸水性に優れたアクリルウムクロスがおすすめ。



STEP3. 撮影の準備

Check List

□ 01 カメラを三脚で設置する

三脚を使ってレンズの中央と水槽の中央を必ず合わせましょう。カメラの水平も忘れずに。



□ 02 水槽上部を遮光する

照明の光が入るとカメラの自動露出機能で暗く写るため、水槽上部を黒いボードで塞ぎましょう。

□ 03 映り込みを防ぐ

カーテンを閉じ部屋を暗くします。カメラ側に暗幕などを設置すれば、さらに映り込みを防げます。

さらに
ステップ
アップ

STEP4. 水景を演出する

Check List

□ 01 背景を明るくする

ライトスクリーンを使用することで背景の映り込みを防ぎ、水槽の中を明るく撮影できます。



□ 02 ドライヤー(冷風)で波をつくる

水面の波は水中感を演出してくれます。ドライヤーは必ず冷風で使用してください。

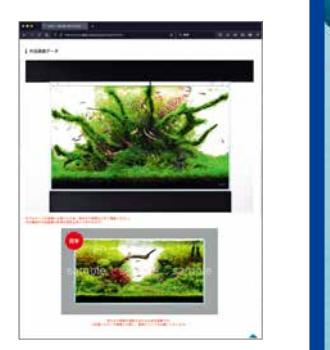
□ 03 魚の位置を決める

群泳は魚の棲息環境の雰囲気をぐっと高めます。ベストポジションでシャッターを切りましょう。

〆切は
5月31日
まで

STEP5. IAPLC公式サイトで 作品を応募する

今年から応募情報確認ページに、写真の明るさや画質を比較するためのサンプル画像を掲載しています。ぜひご自身の作品画像と見比べて参考にしてみてください！



機材別の詳しい撮影方法はこれら



一眼レフでの撮り方→



スマートでの撮り方→





小さな器で水生苔を

今回は、ガラスポット MARUで水中苔を育てる小さなアクアリウムをご紹介します。近年、園芸店やSNSなどでも小さな器で陸生苔を楽しむテラリウムをよく見かけます。多様な陸生苔の表情は可愛らしくもあり、肅然たる雰囲気を漂わせています。一方、水生苔では半透明な葉やふわりと伸びる姿から、柔らかさや水中感など陸生の苔とは異なる独特な雰囲気を味わうことができます。ここで紹介しているオレゴンリバーモスは、小さな溶岩石にテララインで巻き付けています。制作自体は10分程度ででき、メンテナンスも手軽です。生長は緩やかなのでトリミングは頻繁にする必要はなく、換水は週に一度、1/3程度(コップ一杯くらい)で済みます。また、モスと相性の良いカラーシュリンプを入れることで、小さな器の中が少しだけにぎやかになりました。



多様なモスの表情とカラーシュリンプ眺めながら束の間のチル。小さな器なので複数並べて楽しむのもおすすめ。

DATA

- ガラスポット MARU
- トロピカルリバーサンド
- オレゴンリバーモス
- レッドファイヤーシュリンプ
- ペルベットブルーシュリンプ

レイアウトでの巻き方とは異なり、しっかりと石に固定するように3、4周くらいでよい。生長点を巻き込みますに不ぞろいに飛び出せるとふんわりと仕上がる。



マグネットライトGに照らされた透き通ったモスグリーンと酸素の気泡が美しい。ガラスポットMARUはその形状から、水中のものは実物よりも大きく観察することができる。



カラーシュリンプは見映えする赤色や、目立ちにくい青系などバリエーションが豊富で、藻類対策にもなる。ガラスポット MARUの容積では3匹もいれば十分。



ADA PLANTS GALLERY *Ottelia ulvifolia*

アフリカン・オテリア

Text_Kota Iwahori

9[#]

多様な生体製品を開発している
ADAの生産開発部、通称“グリーンラボ”。
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や
時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。

激戦区を制するアフリカンオテリア

アフリカンオテリア(ここでは*O.ulvifolia*)は、マダガスカル島含めアフリカの湖や河川などに分布しています。その分布域は、日本にも自生する同属のミズオオバコ(*O.alismoides*)に次ぐ広さです。現在、10種以上のオテリアが確認されているアフリカでも数少ない黄花を咲かせる種類で、大西洋を隔てて南米に分布している黄花のアマゾンオテリア(*O.alismoides*)は、分類上近い種類のようです。白花のアフリカンオテリアも存在するかもしれないが、別種を疑ったほうが良いでしょう。

セロファン質×虎斑

アフリカンオテリアの最大の魅力は、セロファンのように透明感ある葉と、そこに現われる褐色の虎斑でしょう。葉は抵抗が少なく、表面がスムーズで独特なさわり心地です。きれいな草体を保つためにCO₂の添加はもちろん、やや富栄養を好むためアマゾニアの使用やボトムプラスでの追肥をしましょう。水流が穏やかな箇所では葉柄が過度に伸びずに整った姿になりやすいようです。大きく生長するため、90cm以上の水槽での育成をおすすめします。

カプセルを突き破っている最中の写真。中に気泡があり、水が浸入したことがわかる。



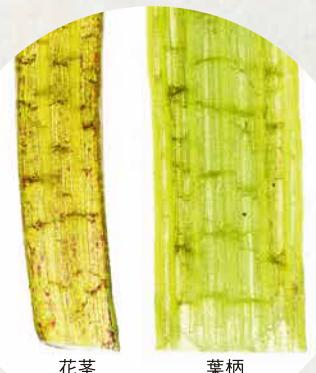
ウリクラゲと似た花芽

オテリアの仲間はスイレンやアポノゲトンなどと同様に花茎を伸ばし水面で花を咲かせます。水槽育成における花茎の長さは数十cm程度ですが、自生地では2m近くになるものもあるそうです。オテリアの子房の形状は、ひだがあるものや刺状の突起があるものなどさまざまです。アフリカンオテリアにおいてはまるでウリクラゲのような形をしています。中は気体(詳細はわかりません)で満たすことでフロートになっているので、それを突き破り花が咲きます。

時を忘れて眺め続けたいと思うようなエキゾチックな虎斑。それでいて、レイアウトでは決して主張しすぎることはない。

繊細な葉と茎に注意

アフリカンオテリアは花茎はやや柔軟性があるのに対して、葉や葉柄は折れやすく、パッキングする際は無酸素パッキング(袋の中が水で満たされている状態)で行うのが普通です。しかし、ADAがイベントなどでレイアウト作品を運ぶ際には水が入っている状態では運搬しないので、アフリカンオテリアを丁寧に包むようにぬらしたペーパータオルで保湿し、周りをエアーパッキンで固定しています。微細な葉を持つオテリアの仲間は、育成にも運搬(ADAの特殊事情ですが….)にも苦労するというのがラボスタッフ間での認識です。



花茎 葉柄

葉柄に比べ花茎は比較的単純な構造で、細胞の大きさが均一で丸みを帯びたものが多いように見える。花茎の柔軟性と関係あるのかもしれない。

2022年4月21日、ADAは30周年を迎える。これまで発売してきた数多のNAグッズは、ネイチャーアクアリウムの実績の中から生まれてきた。その中から一部の製品群を進化論になぞらえて、目的や機能の変遷を紹介しよう。

ADA PRODUCTS

進化論

Text Ryuji Ogawa



1993
パレングラス

微細な気泡でのCO₂添加を可能とした原点となるオリジナルモデル。発売当初は茶色のロゴだった。

1993

パレングラス・ビートル・シリーズ

キスゴム取り付け部が2つあり水槽のコーナーに設置できるデザイン。90cm以上の大型水槽向けに開発。

2000

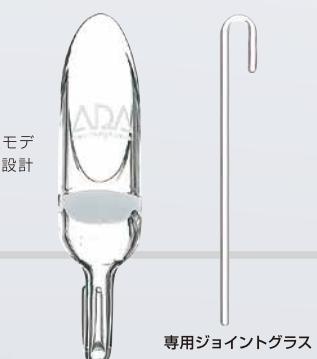
ニュー・パレングラス

デザイン性に富んだ斜面加工を施したモデル。専用のジョイントグラスとセットで設計された。(生産終了品)

1993

パレングラス・ラージ 20Ø, 30Ø

水槽の側面に設置できるデザイン。ガラス管をJ字に曲げた設計により美しい配管が可能。



30Ø

50Ø



2001

パレングラス・ミニ

小型水槽用に開発。キスゴムレスでの設置が可能ため配管が目立たない。チューブは水槽外で接続可能。



2003

パレングラス TYPE-2

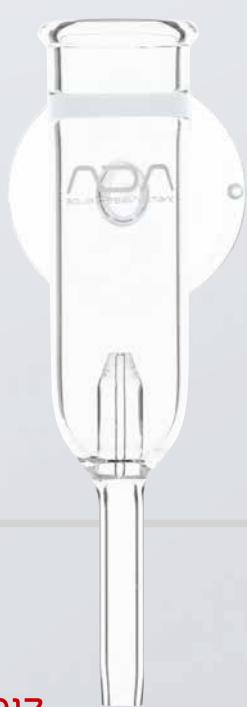
拡散面を上方へ変更したバリエーションモデル。添加効率はオリジナルモデルと同等で60cm水槽に適する。



2009

パレングラス TYPE-3

ガラス管を本体左サイドに接合し、チューブ接続部を上向きに設計。配管が容易となっているモデル。



2017

パレングラス・イージー

添加量の目安となる満量を本体内部の毛管で測定ができる。現行で唯一カウンターレスでの使用が可能。

進化し続ける機能性とデザイン

ADAでは水槽に二酸化炭素を添加すると水草の光合成が促進され健康的に育つことを確認して以後、ガラス製フィルターの開発をすすめ、60cm水槽向けにØ20mmのガラスフィルターを使用したパレングラスを発売。きめ細かい拡散面を通じて添加すると二酸化炭素はさながら花粉のような微細な気泡となり水中を舞い、自然添加が可能となつた。なお有名な話だが、製品名は「Pollen:花粉」が語源となっている。同時期にØ30～50mmと拡散面を広く設けたパレングラス・ビートルを開発。ビートルとはカブトムシのことだが、ガラス管を角、キスゴム取り付け部を眼に見立てたユニークな命名がされている。拡散面が広く、多量の気泡が発生するため拡散面が開放的な設計となつた。同じく広い拡散面をもつパレングラス・ラージは、ガラス管を曲げた機能的な設計で本体形状はオリジナルモデルを踏襲するデザイン。ガラス管は2種類で構成され、強度を得るため

本体からは8mmのガラス管が伸び、チューブの接続用に6mmのガラス管に接合されている。2000年以降には複数のバリエーションモデルを開発。デザインが大きく変化したニュー・パレングラスや小型水槽向けの設計としたパレングラス・ミニはいずれも水槽内の配管をガラス管で行うことができる。パレングラス TYPE-2、TYPE-3、イージーと開発は進み続けるが、デザイン面も機能面も高く現行品として生産し続けている。

D O O A

Shibata's monthly report

システムで タノシム

第1回
「つくるを楽しむ」

Point 01 根元の水分量を考える

上段と下段の化び草マットで保水状態が違うので、その水分を考慮して配植しました。



壁面の上段には比較的乾いた場所でも育つ植物を植栽。

Point 02 モスの壁をつなげる

化び草マットの境界を目立たなくするため、マットの隙間にモスを貼り付け、シダ植物を挟むように植栽しました。

Point 03 水中を広く見せる

水中部分に立体感を得られるようにしたいと思い、構図素材を手前から奥にかけて道ができるように配置しました。

好みの植物で楽しいシステムテラづくり

この連載ではDOOAのシステム水槽の日常管理におけるノウハウを、わたくし柴田が実際に制作から管理を行なながらご紹介させていただきます。現在システム水槽を管理されている方やこれから楽しんでみたいと思われている方の参考にしていただけたらと思います。まず今回制作したのはシステムテラ30です。化び草マットや水中の水草の細かな変化が見られるように、構図素材の配置はシンプルにしています。壁面には好みの植物を多く取り入れましたが、自分の好きな植物をたくさん植栽すると、日々の状態を楽しく観察できます。次回からこのテラ30を完成させるための管理内容を余すことなくお見せします！(SHIBA)



NAC部
柴田 康文
植物とジムニーを愛す28歳。
愛称シバ。

手軽にレイアウトと植物の育成が楽しめるDOOAのシステム水槽。その日常管理をNAC部屈指のメンテナンス技術者 柴田が実践を交えながらご紹介。今日も管理やってます！



制作:柴田 康文

SYSTEM DATA

ソルスタンドRGB／システムテラ30／システムテラ30用ガラスフタ／ミストフロー／CO₂システムキット／CO₂ミニカウンター／CO₂ミニディフューザー／雲山石／トロピカルリバーソイル

PLANTS

ショート・ヘアグラス／アヌビアス・ナナ ブチ／ラゲナンドラ・ケラレンシス／ピーコックモス／ユキノシタ・ジャワファン／カスピダータ／ミクロソラム・クラビ／カニクサ／ホマロメナ・フミリス／オニヒノキシダ・タマシダ・ダッフィー

SHIBAの視点



ユキノシタは暗いエリアでもOK。

Love
ADA
GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

#01

SAND FLATTENER

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。



柔らかなタッチで

サンドフラッターは名の通り、化粧砂やソイルを平らに整地するためのツールです。水槽枠の直線と水面の水平線、この二つのまっすぐなラインに合わせて前面の底床を水平に整えることで水景の完成度も整うこと間違いありません。下草のトリミングなどで乱れた底床を平らに保つときにも活躍します。水景制作のときには構図素材の隙間に敷く場面、植栽する場面ではピンセットの補助としても重宝します。特にロゼット型の水草を植栽するのにはコツが必要ですが、サンドフラッターで窪みをつくってから植え、ソイルを根元にかけることで注水後に抜けにくくすることができます。そして、何といっても私の好きな点は柄の部分です。つかみやすくて、そんな繊細な円柱が適度に力を弱めて静かにハンドリングができると実感しているからです。底床を整えるのに力は加えすぎなくてよい、そんな設計だと思います。定規やハケなどでも底床を平らにすることはできるでしょう。しかし、専用のツールをつくれるのが何ともADAらしいです。だから私はサンドフラッターが好きです。

Text:Ryuji Ogawa

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。



第 18 回

文・写真／小川 龍司

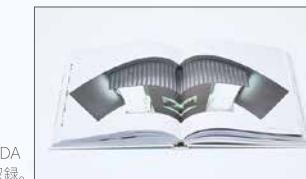
んでんむしむし、かたつむり
と童謡でも有名ですよね。
動きが遅い、殻が掴みやすい、コン
クリートといった人工物の上でも
発見できるなど子どもでも観察が
容易で身近な存在と思います。幼
いころに極めて強い興味を惹かれて
飼育していた生き物のひとつです。
当時、もっとも気になっていたのは
殻の存在でした。この殻はいった
いどこからくるのか? 幼いながら
頭を悩ませ、生まれて間もない時期
には卵の殻を被つて生活している、
という仮説をたてました。産卵か
ら孵化までを記録するべく複数を
撮影してきた、と感激の思い出があ
ります。そして、生まれて最初に卵
の殻を食べる、そんな観察日記を残
していました。さて、この最大の特
徴と言える殻によって種類の識別
ができることが知られています。
写真は春のあたたかな日差しを浴び
て萌えるノイバラに包まれていた

一匹です。痛くないのかな、と心配
になりますが殻にこもって休んで
いたのでじっくりと観察ができま
した。大きさ、模様、色味、渦巻きが
右向きまたは左向きなのか、頭を出
す殻の縁が丸まっているのか、など
ポイントはさまざまです。この個体
はヒダリマキマイマイという種類
で巻貝の中では左巻きは珍しいと
され、学名も稀なマイマイという意
味の *Buhadrina quiescens* と名付けら
れているほどです。新潟県は左巻き
が亜種も含めて複数種類分布して
おり、ある種のマイマイ天国なのが
もしれません。ただ、コレクターに
よる採集圧に晒されていると耳に
することもあり必ずしもマイマイ
たちの安住の地ではないのかもしれません。
ご存じのように移動能力には恵まれていなかったため、地域の個
体群が亜種や別種へと分化しやす
い生き物とされ、全国に700種類
程度生息しているとも言われてい
ます。身近な環境で何巻きマイマイ
が見られるのか、ネイチャーへ出か
けてみてはいかがでしょうか。

INFORMATION

ADA 30th ANNIVERSARY PRODUCT PHOTobook

ネイチャーアクアリウムから生まれたADAのプロダクト写真集



30周年記念誌『ONLY ADA』

設立30周年を記念して編集したADAの製品開発の姿勢や信念を主要製品が物語るプロダクト写真集です。ネイチャーアクアリウムの確立とともに水草レイアウトの新時代を築いてきた歴代ADAプロダクトのコンセプトを凝縮しました。日英のバイリンガル構成。

本体サイズ: W227×D28×H303 (mm)
BOOKケースサイズ: W230×D35×H312 (mm)
総ページ数: 284ページ 小売価格 ¥9,900 (税込)



ADA製品の信念がここに。



2022.4.2(土)→5.22(日)

9:30~17:00 [入場は閉館の30分前まで]

休館日 月曜 ※ただし5月2日は開館

入館料 500円 ※団体(10名以上)400円、中学生以下無料

新潟市の雪梁舎美術館にて、「天野 尚 写真展
未来への記録。」が開催されます。本展覧会では、地元新潟の風景はもとより、日本各地の
美しい風景、熱帯雨林地域を含む世界各地の
風景を、最大3.6mの大判写真パネルを用いて
展示します。天野 尚がその生涯をかけて記録
し、未来に残そうとした美しい自然の姿を、臨場
感あふれる写真でぜひご体感ください。

|主 催| 公益財団法人雪梁舎美術館
|協 賛| 株式会社コメリ
|協 力| 株式会社アクアデザインアマノ
|問合せ| TEL 025-377-1888 FAX 025-377-1881
<https://www.komeri.bit.or.jp/setsuryosha/>

公益財団法人
雪梁舎美術館
SETSURYOSHA Museum of Art

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社山田写真製版所

STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2022 Printed in JAPAN

Art Direction

天野 しおる NATURE AD DESIGN
丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢
Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／亀山 喬史郎／沓澤 亮介
Design 丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢
総監修・大岩 剛／写真監修・阿部 正敏

NEXT AQUA JOURNAL

JUN.2022 vol.320 / 2022年5月10日(火) 発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。

Aqua Design Amano Laboratory

GINZA

ADA

2022.04.22 FRI - 08.28 SAT
Tokyu Plaza Ginza 5F
11:00-20:00



令和4年4月10日発行（毎月1回・10日発行）AQUA JOURNAL 5月号（319号）

発行／株式会社アクアデザインアーツ

新潟県新潟市西蒲区漆山8555-1 TEL:0256-72-1994 定価100円 [本体91円]

ADA
aqua design amano

30th
ANNIVERSARY
AQUA DESIGN AMANO
1992-2022

<https://www.adana.co.jp>